

日本思想史学会 2007年度大会 プログラム

第1日 10月20日(土) 長崎歴史文化博物館 1階ホール

◆シンポジウム 開場13:00 開会13:30 閉会17:00

日本思想史の問題としてのキリシタン — 思想と暴力 —

司会： 広島大学 中村 春作

皇學館大学 白山芳太郎

長崎大学 佐久間 正

趣旨説明 (13:35~15:50)

報 告 (13:50~15:20)

・近世国家の宗教編成とキリシタン排撃 大谷大学名誉教授 大桑 斉

・キリシタンと「殉教」の論理 — キリスト教伝来の意味と殉教への道 —

東京大学名誉教授 五野井隆史

休憩 (15:20~15:40)

コメント (15:40~16:00)

岡山大学 高橋 文博

討 議 (16:00~17:00)

◆総 会 17:15~17:45 長崎歴史文化博物館 1階ホール

◆懇親会 18:00~20:00 セントヒル長崎 (会費5,000円)

第2日 10月21日(日) 長崎大学環境科学部

研究発表 (発表時間20分、質疑応答10分)

パネルセッション (報告討議1時間30分、第3会場・342教室)

第1会場 242教室

午前の部 (10:00~12:00)

1. 『麗気記』の神体図について — 中世神道説における図像 —

日本学術振興会特別研究員 鈴木英之

2. 中世における二神約諾思想

皇學館大学 山口剛史

3. 鈴木正三の『万民徳用』考

— 恩真寺史料の検討をかねて — 愛知学院大学 三浦雅彦

4. 南蛮学の終末

イオンド大学名誉教授 澤 大洋

午後の部 (13:00~16:00)

5. 土道論再考 — 山鹿素行を中心に — 東北大学大学院 中嶋英介

6. 荻生徂徠における礼楽論の特徴 — 朱熹説及び「楽記」との比較を

手掛かりに — 広島大学大学院 陳 貞竹

7. 江戸期における蝦夷観の変遷について — 18世紀後半を中心に —

中部大学大学院 増澤智史

8. 平田篤胤の『出定笑話』及び附録とその波紋 早稲田大学 中川和明

9. 南里有隣『神理十要』におけるキリスト教の影響

— 『天道溯原』との関連 — 愛知教育大学 前田 勉

10. 幕末海防論と栗本鋤雲

東北大学大学院 石澤理如

第2会場 341教室

午前の部 (10:00~12:00)

1. 「帝国」日本の誕生 東北大学 桐原健真
2. 「論壇」の成立 — 明治八年の大論争 — 東北大学大学院 岡安儀之
3. 明治初期におけるモンテスキュー『法の精神』受容の諸相 学習院大学大学院 金子 元
4. 元田永采の天皇論と儒学的君主論 — 「女帝・女系天皇」を中心に — 広島大学大学院 A.B.Setiawan

午後の部 (13:00~16:00)

5. 中国商人団体の国家観念に関する一考察 — 安徽省商人（徽商）の例を中心に — 島根県立大学 于 臣
6. 森有礼の商業教育論 日本学術振興会特別研究員 武藤秀太郎
7. 徳富蘇峰の「同情」的職業論 — 華族問題を中心に — 同志社大学 近藤裕樹
8. 明治後期における渋沢栄一の実業構想と道徳 同志社大学大学院 羽生正人
9. 小崎弘道の教会論と日本組合基督教会 筑波大学大学院 坂井悠佳
10. 土田杏村の大正「新時代」における意識と文明思潮 名古屋大学大学院 川合大輔

第3会場 342教室

午前の部 (10:00~12:00)

1. 戦時期雑誌メディアにおける「東亜協同体」論 — 三木清と船山信一思想連関 — 東京大学大学院 大澤 聡
2. 柳田國男の歴史認識 — あるいは橋川文三と柳田國男 — 塩野雅代
3. 「歴史」と「哲学」との狭間での京都学派の歴史哲学 — 高坂正顕を中心に — 大阪教育大学 杉本耕一
4. 沖縄知識人の思想変遷について — 仲宗根源和を例に — 日本学術振興会特別研究員 櫻澤 誠

午後の部 (13:00~15:50)

5. 近世思想史における仏教の意義 — 丸山眞男を始点として — 日本学術振興会特別研究員 西村 玲
6. 加藤周一と「日本文化史」の戦後空間 — ドナルド・キーン、小西甚一との比較から — 慈済大学 笹沼俊暁
(休憩 14:00~14:20) パネルセッション (14:20~15:50)

パネルセッション「天台宗談義所における知の形成 — 柏原談義所を中心に」

司会：北九州市立大学 佐藤眞人
報告： 東北大学 曾根原理
池坊短期大学 松本公一
関西大学 大島 薫